

県卓球協会組合せ基準

- 1 組合せは、各部の委員等が行う。
- 2 各委員は、平等な視点と組合せ基準に沿って平等な組合せを行う。
- 3 組合せ終了後、理事長・副理事長で確認を行う。理事長・副理事長により疑義が出た場合は速やかに変更する。
- 4 委員は組合せ後、自校・自チームの選手はもちろん、大会当日まで組合せを他に漏らさない。
- 5 対象となる試合結果を基にランク順を出して組合せを行うが、組合せが片寄らないように注意して作成する。
- 6 前年度同種目大会と同じ組合せにならないように工夫する。(一般・年齢別・レディース・ラージボール)
- 7 必要に応じて他カテゴリー部門の委員を組合せに入れることができる。(各部の判断)
- 8 個人戦は、3人以上出場している場合、同校・同クラブ同士が準決勝で当たることを原則として考慮しない。
- 9 個人戦においては、同校(同チーム)同士の対戦が複数にならないように考慮する。
また、同一校の選手はバランスよく振り分ける。(全カテゴリー共通)
- 10 (中学) 新チーム戦を除くすべての大会で1位～8位の順位決定戦を行う
- 11 **ベスト8以上の組み合わせが、直前大会と同じ対戦にならないように振り分ける(全カテゴリー・大会)**

一般の部・マスターズ部・レディース部・ラージボール部

- ① 団体戦・個人戦ともに原則として、前年度同種目大会結果を基準とし、直前の大会も参考にする。
- ② 国体予選・全日本選手権等の予選会においては、県外選手の扱いを慎重に行う。
- ③ 熊日レディースにおいては、前年度優勝メンバーが2人以上変わらない場合は1つ上のクラスに出場する。
- ④ 全日本選手権・全九州選手権予選について
 1. 前年予選に出場していない選手(前年度推薦選手)が出場する場合、最優先して組合せを行う。
 2. 年齢別大会においては、年代下位から上位へ移行する前年度ランキング選手は第6・第5シード選手のところへ入れる。
- ⑤ 前年度中止になった大会の組合せについては、当年の直前大会等を勘案し行う。

高校の部

- ① 原則として直前の大会の結果を基準とする。
(県選手権 → 県高校総体 → 国体予選 → 全日本予選(ジュニアの部)
(県高校学年別大会は、開催期日が不定期のため直前の大会を基準にして組合せを行うが、その結果については次の大会の参考に留める)
- ② 基準大会の結果で32人以上をシードし、それ以外は高校部委員で慎重に協議する。
- ③ 国体予選(少年の部)には中学3年生、全日本選手権予選(ジュニアの部)には中学生・小学生が参加するので組合せが片寄らないように注意するが、年代下位の選手(中・小学生)でランク上位選手は原則として第6・第5シード選手のところへ入れる。
- ④ 全日本卓球選手権大会(ジュニアの部)予選においては、中学生同士・小学生同士の組合せとなることもある。

中学の部

※各大会ポイント制による組合せを行う

- ① 全九州卓球選手権大会(団体の部)予選の組合せのポイントの考え方
対象大会； 熊本県卓球選手権大会(中学の部)
ポイント基準； 団体メンバー6名の合計をチームポイントとする
※ポイントは、個人に属するものとし、出場所属が違っていてもポイントは生かされる。
 1. 第1シード～第8シード まで……ポイント制でシード順を決める。
同ポイントの場合、該当チームの最上位選手の結果で順位を決める。
 2. 第9シード～第16シードまで……試合当日の開始式前の公開抽選とする。
* 予備抽選で抽選順番を決める
* 本抽選でシード順を決める。

ベスト64	……	1.0ポイント			
ベスト32	……	1.1ポイント	ベスト4	……	1.4ポイント
ベスト16	……	1.2ポイント	2位	……	1.5ポイント
ベスト8	……	1.3ポイント	1位	……	1.6ポイント
- ② <個人戦・全九州卓球選手権予選以外の団体戦> **※ポイントの基準は上記と同様とする**
 1. 個人戦、その他の団体戦は、熊本県卓球協会主催直前大会の結果を優先する。
 2. 県選手権の組み合わせは、全日本カデット予選の結果(小学生の実績を除外)を基本に64名をシードする。ベスト8シードは直前大会(小学生除く)を基本とする。
9位～64位のシードは、中学部委員で慎重に協議し決定する。
 3. 年度最初に実施する「熊本県会長杯(中学の部)」は新1年生も出場するため、男女各合計64名をシードする。
 4. 各校選手が一部に偏らないように配慮する
(例；8名の選手は8枚のシートに配置する。4枚であれば各2名ずつ配置する)
- ③ <全日本選手権(カデットの部)予選> **※ポイントの基準は上記と同様とする**
 1. 中学1・2年生学年別大会のベスト8選手と全日本選手権(ホープスの部)予選ベスト8以上の選手は同ポイントとする
 2. 小中学生共に、九州大会でランク入り、全国大会(ホカバベスト16以上)の選手は配慮する
 3. ダブルスにおいては中学1・2年生、ホ/カ/バ ベスト4は同ポイントとする。

小学の部

- ① 団体戦・個人戦ともに①直前大会 ②2つ前の大会を基準に作成する。
- ② 各チーム選手が一部に偏らないように配慮する
- ③ ベスト4以下のシードについては、小学部委員で慎重に協議し決定する。
- ④ 東アジアホープス国内予選選考は、全国ホープス選抜大会予選の結果(5年生1位選手)を熊本県代表とする。
- ⑤ 各チームにおける参加申込記入ランク順は①②③後の参考とする。